（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（北信地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	昭和をテーマとしたイベントで特色ある飯山の魅力づくり事業
事業主体 （連絡先）	ノスタルジアいいやまプロジェクト （090-4462-7215）
事業区分	（６）産業振興、雇用拡大　ア　特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,491,653 円（うち支援金：1,454,000 円）

事 業 内 容

・昭和をテーマにしたイベントを飯山市文化交流館なちゅら及び空き店舗を会場として開催する。
・なちゅらでは、昭和に活躍したアーティストを招致し、県内外から多く方が飯山を訪れ、飯山の魅力を知ってもらう。また、空き店舗等を活用し、昭和の町飯山を象徴するようなイベント（いいやま昭和ラヂオ）を開催し、飯山市民にもイベントに主体的に参加してもらい、地元を盛り上げる力になってもらい、また地元の魅力を再発見してもらう。
・地元の若者（高校生等）にも活動に参加してもらい、共に地域の発展について考える機会にしていく。

【令和８年２月 14 日いいやま昭和ラヂオ】

【目標・ねらい】

①市外、県外の人に飯山の魅力を知ってもらう。
②飯山市民が飯山の魅力を再発見する。
③若者定住・県外者移住促進。

※自己評価 **【B】**

【理由】
いいやま昭和フェスを通して、多くの方が飯山を訪れ、飯山の魅力を知る機会を提供でき、市民や若者も参画するイベントを開催できた。

aa 事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・昭和時代に活躍した著名なアーティストを招致したことで、市外、県外から多くの人（400 人）が飯山を知る機会となった。
・空き店舗を会場して開催した「いいやま昭和ラヂオ」では 30 人を超える市民が参加し、また市民が出演してステージを盛り上げた。「昭和の町飯山」の取り組みを多くの市民に知ってもらう機会になった。
・今回のイベントでは飯山高校の生徒や地域おこし協力隊のメンバーも参加して、飯山の地域振興や若者の地域定着等の課題について話し合う機会となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・「いいやま昭和フェス」の認知度をさらに広め定着させるために、より魅力的なイベント企画を進め、多くの来場者を得て、飯山を知ってもらう機会としていく。
・また、イベント参加を契機として、飯山の自然や田舎暮らしの魅力を感じてもらえるような関わりを参加者に提案できるような内容を盛り込んでいきたい。
・飯山高校の生徒をはじめ、飯山の若者がプロジェクトに参画できるようなプログラムを盛り込んでいきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある